

特別契約会員として司法書士試験の勉強をされている方の六〇パーセントにもおよぶ方が、一日三時間の厳格な習熟スケジュールを完全履行されています。この非常に厳しい計画を、これだけ多くの方が実行できていることは、まさに驚異的ともいえるべきことです。

昨年二月より始めた司法書士の特別契約会員にご入会いただいた方は九十五名でした。

二〇一二年一月五日現在、特別契約の習熟計画表に遅れることなく進捗している方は五十七名です。実に六〇パーセントの方があと二か月弱で、特別契約会員の条件であった習熟計画表の学習を完了されることとなります。すでに全計画を完了された方が、十七名いらっしゃいます。

完全達成者率六〇パーセントは、司法書士専門学校で最後の講義まで出席される受講生の比率より遙かに多いのです。まして、全講義にすべて出席し、完全習熟する受講生の比率はもっと低くなります。

また、特別契約会員の条件を満たすことができず途中で契約解除となった三十八名の方のうち、二十二名が最初の一月以内に、九名が二ヶ月、三名が三ヶ月、五名が四ヶ月つまり五月で契約解除になっています。

また、この三十八名の方には海外赴任された方、病気で長期入院された方、その他、やむを得ない事情のためなどで断念された方も五名含まれています。

一週間ごとに習熟計画表の実行が管理され、その都度の個別連絡が着実な効果を生み出したようです。

司法書士試験の受験は、集中的に学習をしても、合格までに二年の学習期間が必要といわれています。

幸いTLTソフトなので正味七〇〇時間あれば合格への知識と演習を確かなものとして習得できます。

そして強制的に完全習熟させられるTLTソフトは、講義と書籍やノートによる自習での習熟期間に比べて三分の一以下の時間で、より確かな受験準備ができる機能と特長を備えています。

TLTソフトでの学習こそ、計画通りに習熟を実行すれば、ほぼ間違いなく合格できます。

しかしこれまでのTLTソフトの会員様の自主性のみによる受験学習では、この学習計画を最後まで完了できる受講生の方は、約八パーセント程度だったのです。

昨春より試験的に実施した特別契約会員制度は、大方の受験生にとってきわめて困難な「長期間の学習計画厳守」に参加受講生の六〇パーセントを超える方が、いま、まさに達成しようとしています。これは従来の自由な自主学習や予備校通学に比べても驚異的ともいえる成果です。

この理由を参加受講生にアンケートで尋ねたところ、「一週間単位で進捗をチェックされることが学習のリズムと習慣を作った」と答えています。また、この契約会員制度がなかった場合、「いまの計画表のように、学習を継続できていましたか」の問いでは、五十二名つまり九〇パーセントを超える方が、「できなかったと思う」と回答されています。

また、「この制度でよかったことは何ですか」の問いには、「この制度のお陰で毎日、規則正しく学習する習慣が身についた」と七割以上の方が答えています。

毎日、四ステップ、週に二十四ステップ習熟を死守していく習慣づくりは「最初の三ヶ月」が鍵です。

司法書士合格への受験準備期間は十四ヶ月間です。特別契約会員制度の実績では、最初の一ヶ月、計画表通り進捗できれば八十パーセント以上の方がさらに継続でき、さらに三ヶ月間、契約通り学習計画を進めることができた方の九十五パーセント以上の方は全学習計画を来年の四月までに完了させることができます。

あなたも二〇一三年度、ことしこそ不転の決意で

この特別契約会員として司法書士の資格取得に、ぜひ挑戦されることをおすすめします。

これまで司法書士試験受験生にとって、いちばんの障害になっていたのが学習計画を全うできないことでした。

全うさえできれば、TLTソフトのシステムと機能で合格は間違いありません。しかし、昨年の会員様が実証している通り、なんと実質七〇パーセントにおよぶ方々が計画表に一日も遅れることなく合格に邁進されているのです。あなたもいままぐ特別契約会員にお申込みになり、二〇一三年度の司法書士資格取得の栄冠を勝ち取っていただきたいと思えます。